

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 食道がん患者の術後運動耐容能に対する術前化学療法中からのリハビリテーションの有用性

[研究責任者] リハビリテーション科/吉永 龍史

[研究の背景]

食道がん患者さんは手術後に体力が大幅に低下することがわかっており、手術前からのリハビリが重要です。これまでは手術前の抗がん剤治療の後からリハビリを行うことがほとんどでしたが、最近では抗がん剤治療中からリハビリを行うことが有効と言われています。しかし、実際にそれが手術後の体力の回復にも影響するかはわかっておらず、これが明らかになれば、今後、より効果の高いリハビリを提供することができるようになると思っています。

[研究の目的]

手術前の化学療法中からリハビリテーションを行うことが手術後の体力の回復に影響を与えるかを検討すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

対象は2019年7月1日から2024年10月31日までの間に、田上病院で手術前のリハビリテーションを行い、長崎医療センター外科で抗がん剤治療および食道がんの手術が行われた方

●研究期間：倫理審査委員会承認日から2025年3月31日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

基本的情報、合併症、リハビリ実施状況、検査情報、身体機能、生活の質、疲労、呼吸機能

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：長崎大学病院 リハビリテーション部/神津 玲

●その他の共同研究機関：田上病院 リハビリテーション科/遠山 柊介

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

リハビリテーション科 理学療法士 吉永 龍史（よしなが りゅうじ）

電話番号：0957-52-3121（代表）